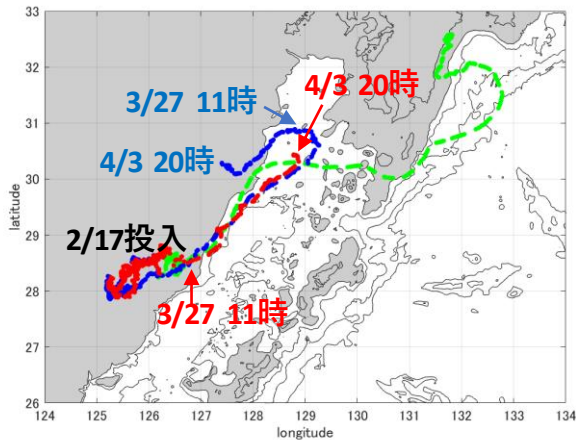


漂流バイ観測速報(20)

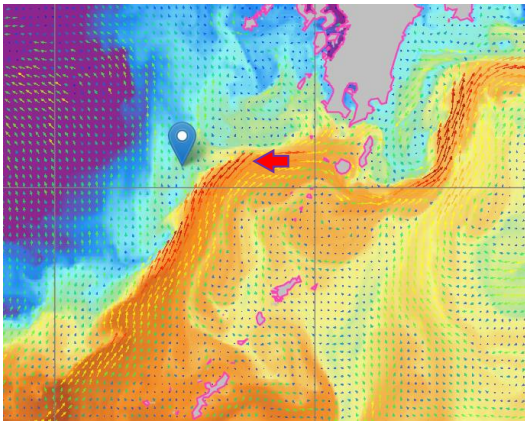
鹿児島大学水産学部水圏科学分野

2023年4月3日



漂流経路図:

3個のペットボトル型バイの漂流軌跡(4月3日20時現在).
注意:漂流バイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(4月3日20時):

図中の青マークは31日の青色●の漂流バイの位置を、赤矢印は赤色●の漂流バイの位置を示す。その他の小さい矢印は海面の流速と流向を示す。

提供:海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

データ表:バイ投入から4/3・20時までのバイの位置情報.時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)			
日本時間4月3日20時更新			
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)	
2023/2/17 2:11	126.48	28.46	
2023/3/7 2:53	125.66	27.97	
2023/3/20 0:04	125.77	28.44	
2023/3/23 3:00	126.34	28.75	
2023/3/24 2:48	126.26	28.81	
2023/3/25 2:38	126.25	28.74	
2023/3/27 2:14	126.90	28.57	
2023/3/29 8:47	127.64	29.28	
2023/3/31 3:06	128.09	29.71	
2023/4/3 10:55	128.78	30.44	

鹿児島大学水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型バイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。

解説:流れ藻に取り付けた2つのバイ(青色と赤色)が、奄美大島西方の大陸棚縁辺から黒潮に取り込まれて漂流しています。青色バイは、黒潮前線上の低気圧性渦(反時計回り)に巻き込まれ、黒潮上流域へ戻されています。当初、再び黒潮に取り込まれ屋久島西方の水温前線付近を漂流すると予想しましたが、予想に反して大陸棚上を北西に向かっています。はっきりした理由は言えませんが、南東風に押し流されている可能性があります。

赤色バイは、3/27頃に黒潮縁辺の強流帯に乗った後、真すぐに下流へ移動していましたが、これも青色バイ同様に黒潮流路の峯付近で低気圧性渦(反時計回り渦)に巻き込まれたようです(風がある程度効いているかもしれません)。今後は青色バイのあとを追うように移動すると考えられます。

4月になりましたので、本日をもって、漂流バイ観測速報の公表を終了します。

ID:227201 (●)			
日本時間4月3日20時更新			
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)	
2023/2/17 1:31	126.16	28.33	
2023/3/7 2:52	125.29	27.98	
2023/3/20 0:06	126.79	28.52	
2023/3/23 3:06	128.44	29.93	
2023/3/24 2:56	129.19	30.52	
2023/3/25 2:38	129.13	30.71	
2023/3/27 2:10	128.80	30.88	
2023/3/29 8:47	128.21	30.51	
2023/3/31 3:07	127.83	30.16	
2023/4/3 10:44	127.41	30.29	

ID:227202 (●)			
日本時間4月3日20時更新			
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)	
2023/2/17 8:07	126.18	28.24	
2023/3/2 2:56	127.29	28.86	
2023/3/7 2:58	130.05	30.24	
2023/3/20 0:03	131.80	32.53	
2023/3/23 3:00	131.73	32.48	
2023/3/24 7:29	131.72	32.49	
2023/3/25 2:34	131.72	32.49	
2023/3/27 2:10	131.72	32.48	
2023/3/29 8:48	131.71	32.49	
2023/3/31 3:03	131.71	32.48	
2023/4/3 10:51	131.73	32.48	